

北っ子 敷島北小学校だより

令和7年5月27日 文責 学校長 増坪広夫

修学旅行×集団を高める機会

5月28日（水）から5月30日（金）まで2泊3日の日程で修学旅行に出かけてきます。

思い出づくりはもちろんですが、修学旅行の「修学」には「学問を修める」という意味があります。様々な出会いや体験を通して「物事に対する見方・考え方を広げる」ことや、寝泊りも含め3日間を一緒に行動することで「集団行動のきまりや社会のルールを学ぶ」ことなども修学旅行の目的の一つになります。

修学旅行の教育的効果は数多くありますが、一番は「**集団がお互いを高め合える絶好の機会**」であると思っています。だからこそ、「修学旅行が楽しさを提供してくれる」のではなく、「楽しい修学旅行にするために自分は何ができるのか」といったことを意識できる6年生であってほしいと願っています。



また、この修学旅行で実際に実物を見たり触れたりする体験は何事にもかえがたいものだと思います。鶴岡八幡宮に続く段葛が見事な遠近法によって構築されていること、間近で見る大仏や建造物が先人の知恵の宝庫であること、水族館のイルカショーで水中から高く飛び跳ねるイルカがけっこう大きいことなど、実際にそこに行って体験しなければ感じられないことが結構あります。「最高の思い出」とは友達と過ごした楽しさだけでなく、こうしたことも含まれるのではないのでしょうか。ちなみに6年生が決めた修学旅行の

テーマは「みんなで仲良く協力し思い出に残る最高の修学旅行にしよう」です。

決意を固めた結団式

5月26日（月）に修学旅行の結団式を行いました。校長（団長）の話では「説明や話をしっかりと聞くこと」「五感をフルに使って、その雰囲気を感じてほしいこと」「お年寄りに席や道を譲るなど、誰かのために我慢することができること」などを伝えました。また誓いの言葉では、代表の児童が「時間やマナーを守る」「安全に過ごして友達との絆を深める」ことなどが宣誓されましたが、この誓いを忘れずに有意義な時間を過ごしてほしいと思っています。



大自然を感じた林間学校



5月12日（月）から2日間、林間学校で5年生が八ヶ岳少年自然の家に行ってきました。野外活動や宿泊体験を通して自然の素晴らしさを肌で感じ多くのことを学びました。森の中で課題を解決するネイチャーハイクや冒険ハイクで谷を越えるケーブルサーキットなど、充実した野外活動を全員が満喫しました。男女ともたくましく成長したようで、学年としての結束も強まり、敷島北小学校のリーダーとして今後の活躍が期待されます。

校外活動×グループ活動

小学校では、様々な場面で子供たちがグループになって活動を行います。代表的なものがクラスでの「生活班」と呼ばれるものです。

4～6人ぐらい男女混合で編成し、多くの学級がこの班をもとに集団での自治活動に取り組んでいます。係活動であったり、掃除であったり、校外学習でのグループ学習であったりと、色々な場面でこのグループをもとに活動をしています。



班活動とは別にグループをつくる場面もあります。例えば、校外活動に行ったときに「お昼を食べる」といった場合です。

「これからお弁当の時間にします」

「自由にグループをつくって食べましょう」

「ひとりぼっちの人がでないように声をかけあってくださいね」

どこにでもある光景ですが、お弁当を食べるわずかな時間であっても「誰と食べるのか」は子ども達にとっては大きな関心事となります。



自由なグループをつくる時、その場面ごとにメンバーが替わる子もいます。たまたま近くに居合わせた友達と「一緒に食べよう」と誘ってグループをつくるタイプです。同じメンバーになることに執着せず、「誰と食べるか」より「どこで食べるか」の方に関心が高いのかも知れません。けっこう多いのが「どこで食べるか」よりも「誰と食べるか」を気にするタイプの子です。友達関係に敏感になりがちで友達関係に縛られたりするため悩むことも多いようです。



よい友情とは「対等な関係のこと」だと思います。

「やりたいことを一緒に決められる」

「でも平等に分かち合うことができる」

「お互いに信頼しあえる」

「どんな問題も力を出し合って一緒にのりこえられる」

「いいときも悪いときも頼りあえる」

最後にとっても大事なことが

「それぞれが他に友達を持っている」

学校生活の楽しさは、時として友達関係の安定のもとにあります。友達関係が不安定だと学校生活のすべてがつまらなく見えてしまうこともあるかもしれません。本校の子どもたちには、小学校という時期においてよりよい友達関係をたくさん築いてほしいと願っています。

学校ホームページで学校の様子を公開中

敷島北小学校のホームページは随時更新しています。QRコードを読み取るとトップページが表示されますので、ぜひ子供たちの活動の様子が掲載された「お知らせ」をご覧ください。

